

RID 2780

茅ヶ崎ロータリークラブ週報

2024-2025 年度テーマ

第 65 代会長 杉田 祐一
第 65 代幹事 木村 信一

Painted by Kenzo Tanaka

ロータリーの
マジック

〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3 階 TEL : 0467-83-6060 FAX : 0467-83-9915

メール : c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL : 0467-87-0002

2025 年 5 月 22 日(木) 第3106回例会 天候:晴れ 司会:小澤雅彦副幹事 No. 40

＝本日の例会行事＝

◇歌唱 「我等の生業」

◇会長挨拶

◇幹事報告

◇委員会報告 [社会奉仕 他]

◇卓話 和田幸男君

『クラブ会計について』

小澤雅彦君 『ロータリーは一つの人生哲学である』(クラブラーニング委員会)

◎幹事報告

◆ガバナー事務所より

◇青少年交換 派遣候補生・来日学生合同オリエンテーションのご案内 ◎6/7 (土) 15:00～17:00

◎第一相澤ビル8階「会議室」

◇『青少年交換卒業旅行』スケジュール ◎6/15 (日)

◎富士急ハイランド

◆台北西北区扶輪社より 2025-26年度 理事役職分担リスト

◎会長…会長エレクト…鄭銘鎮 (Mark) ◎会長エレクト

ト…陳祥彬 (Ben) ◎幹事…陳玉河 (Daniel) ◎国際

奉仕委員長…余仁方 (Jared) ◎理事…陳志敏、陳斌超、洪

耀坤、謝瑞坤、王國輝、陳延瑞、余仁方、簡世峯、葉木棋、

陳金龍、陳永森

◎姉妹クラブ班長…鄭資盛 (Alex) ◎副班長…林啟時

(Casey)、蔡式邦 (Peter)

◆タウンニュース



委員会報告の樋口・大森翔平・木村邦佑・細井・菅野の各会員。菅野会員は植栽の際、湘南信金の若いメンバーを連れて参加してくれました。



5/22 例会終了後、JR 茅ヶ崎駅南口の植栽事業に勤しむ各会員と菅野会員率いる湘南信金チーム

出席報告 菅野 敦会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
5/22	3106	49	46+1	33	3	11	76.60%	
5/8	3104	49	46+1	38	2+0	7	71.74%	71.74%

スマイル報告 細井年春会員

杉田祐一君 & 木村信一君 皆様、もの思いにふけていますか？パンジーの花言葉だそうです。今日は皆様、植栽のお手伝いお願い致します。和田さん、小澤さん、卓話お願い致します。

田中賢三君 本日の卓話はクラブラーニング委員会です。和田委員、小澤委員、よろしくお願いします。

和田幸男君 今日、クラブラーニング委員会の卓話担当です。よろしくお願いします。

大筋剛久君 先日の報道で、インドネシアの前大統領のフルネームが「スシロー・バンバン・ユドヨノ」という、いかにも回転ずしに入り浸っている感満載の名前と知り、妙に親近感を持ったことをご報告いたします。

加瀬義明君 和田さん、小澤さん、卓話宜しくお願い致します。本日の植栽、仕事の都合により、大変申し訳ございませんが、欠席させていただきます。

吉田恵子君 今日は花植えですね。卓話和田さん、小澤さんの楽しみです。

山口利通君 和田君、小澤君、卓話期待しています。

成田栄二君 和田さん、小澤さん、卓話よろしくお願いします。

河本啓伸君 平賀ちゃん、過日は駐車場のご紹介ありがとうございました。小澤さん、和田さん、渾身の卓話を楽しみにしています。

古知屋光洋君 和田さん、小澤さん、卓話楽しみです。

中山富貴子君 初夏とはいえ突然の暑さにおどろいています。和田さん、小澤さん、卓話楽しみに拝聴させていただきます。

北村公子君 さわやかな良いお天気です。お出かけ日和ですが、旅行へもなかなかいかれません。テレビの旅番組でがまんしています。

木村邦佑君 昨年かから畑を借りて野菜を作っています。収穫の度にカミューに食べさせて、美味しい美味しいと言ってもらい、幸せを感じています。残すところ 10 日を切りました。大切な時間を過ごしたいと思います。

伊藤和明君 和田さん、小澤さん、卓話楽しみです。

榎木太郎君 変な占い師の予言で外国人の日本カンコウキャンセルが増加したとの事。沖縄より本土の梅雨入りが早いこの頃ですから、これもありなのでしょうか？

宇野雅仁君 本日の卓話、和田さん、小澤さん、よろしくお願いします。

樋口康雄君 和田さん、小澤さん、本日の卓話楽しみにしています。おかげ様で先日親睦家族旅行を無事に終えることが出来ました。ありがとうございます。

大森翔平君 親睦旅行ではバスの中でビールをこぼしてしまい、申し訳ございませんでした。今日は駅前の植栽事業、皆様、御参加お願い致します。

上原幸作君 和田さん、小澤さん、卓話よろしくお願いします。本日、花の植栽がんばります。

[本日 20 件、26,000 円です]

卓話「クラブ会計について」和田幸男会員

ラーニング委員会の時間になりました。テーマは「クラブ会計について」です。それでは杉田会長年度の予算書を使って説明します。クラブ会計は、一般会計・スマイル会計・周年積立金会計の 3 つです。特別に実施する行事などは、その都度、行事などの名称をつけた特別会計をつくる場合があります。

まず、一般会計ですが、会員数 40 名割ると予算を組むのが難しくなります。1 番支出が大きいのが例会費です。例会場は、コルティール茅ヶ崎に来る前は、阿部浅その前が、茅ヶ崎フィッシュセンターでした。16 年前、当時茅ヶ崎フィッシュセンターの社長だった斉藤さんが、RC 会長（私が幹事）の時にコルティール茅ヶ崎に例会場を借りることが出来ました。ありがたいことにその時から、値段が変わっていません。斉藤年度から、5 年間位、一般会計が厳しく 1 か月に 1 度、粗食の日（-1000 円）がありました。1 番大事なことは、会員 45 名の維持です。

米山奨学会について。米山梅吉さんは、1920 年に東京 RC の初代会長。1953 年東京 RC が創立者米山梅吉氏の功績を記念して創設した「米山基金」から発展したのが、「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」。クラブからの普通寄付 5,000 円と各個人からの特別寄付があります。スマイルは、奉仕活動に使われますが、今年度は、65 周年積立金への繰り入れがこれまでの 60 万から 100 万に増えています。

クラブ活動計画書 P35 に会計処理規程があります。私が改訂したのですが、第 6 条、スマイル会計の用途は、職業・社会・国際の各奉仕委員会となっている。青少年奉仕が抜けてました。第 7 条、第 6 条以外にスマイル会計を使用するときは、理事会が承認すれば良いとなっています。

私が 2019 年度にガバナー補佐をしたときの第 4 グループの各クラブの活動計画書を見てきました。各クラブのその当時のスマイル会計は、茅ヶ崎湘南 RC・寒川 RC・綾瀬春日 RC が奉仕にのみスマイル会計を使用。綾瀬 RC は、奉仕と米山奨学 30 万、ロータリー財団 30 万。茅ヶ崎中央 RC は、奉仕と周年積立金 15 万となっていました。

ロータリークラブの理想である、会員増（会員増強）→クラブの活性化→スマイルアップ→地域（茅ヶ崎）への奉仕→ロータリークラブの認知度 UP→このような良い流れに杉田会長年度はなっているようです。



わだゆきお
2003 年 6 月入会
1958 年 3 月 5 日生まれ
(有) サンエイト 代表取締役
職業分類：不動産賃貸
「会員増強は避けて通れない。これからは 50 名を目指して欲しい」

会員増強の重要性を訴える和田会員。これまでも会員増強に大きな貢献を果たしてきた。

卓話「ロータリーは一つの人生哲学である」小澤雅彦会員

みなさん、こんにちは！今日はラーニング委員会ということで、タイトルの「ロータリーとは一つの人生哲学である」ということについてお話しするんですが、これ実は決議23-34というロータリーの大きな転機となった決議に書かれている最初の記事です。

1905年に誕生したロータリーは120年のその歴史の中で何回か大きな転機がありました。皆さんもこれまでの人生で大きな転機を迎えたことがあるはずです。今年度のテーマはロータリーのマジックですが、それはまるでマジックのように人生を変える瞬間です。

私にとっては歯科医師になると決めたことがその瞬間だったのは間違いありません。父親と進路のことで諍いがあったのち、北海道大学歯学部に進学、当時は歯科医師国家試験も国立ならば100%合格してましたし、普通にやればとりあえず歯科医師になって、普通に稼げるんだろう？そんな甘い考えで大学生活を過ごしていたある日、実家から電話がかかってきます。祖母が入院してもう危ないと医者に言われたから帰ってこいというのです。私はすぐに茅ヶ崎に帰り、祖母が入院していた茅ヶ崎の徳洲会病院に向かいました。祖母は病院のベッドで酸素マスクをつけて寝ていました。私は祖母の手を取り「おばあちゃん、頑張って」と言いました。すると祖母が目を覚まし「雅彦、お前も頑張れ！」と言ったのです。その瞬間涙が止まらなかった。だって自分はちっとも頑張ってなかったから。死の間際で「頑張れ！」って心配してくれる人がいるのに、自分はちょっと現役で国立に受かったからって調子に乗って何も頑張っていなかった。本当に自分が情けなかった。何かを変える必要があるって感じた。でも何を変えればいいのか分からなかった。

具体的にはまだイメージはできなかったけど、とにかく良い歯科医師になりたかった。社会に、家族に、そして何より自分に誇れるような歯科医師に。そう思った次の日から大学の授業は最前列で聞くようにした。大学では席は基本的に自由席だからみんな後方の席に陣取って、居眠りしたり、授業の途中で抜けたり、当時はスマホはなかったけど雑誌を読んだり、適当に時間を過ごしている学生が多かった。そんな仲間を尻目に最前列で講義を聞き始めた私を、周囲は「小澤は気が狂ったんじゃないか？」って言っていた。でも気にならなかった。しばらく最前列で講義を聞くことを続けていると、俺も前で聞いてみようかな？って一緒に最前列にくる友人もいた。

私のこのエピソードを皆さんにお話ししたのは何も自分はこんなに頑張ったんだという自慢をしたいのではありません。信念や情熱には人を動かす力があるということを身をもって学んだということです。



おざわまさひこ
2016年2月入会
1972年3月21日生まれ
にんべんビル歯科 院長
職業分類：歯科医
「ロータリーいかがですか？」と人に薦められるロータリアンになりたい

私が歯科医師としての生きざまを変えられたのには一人のロータリアンとの出会いがありました。

資料の一番最後の「謝辞」をご覧ください。

川村泰雄先生は大阪住吉 RC で 1991-92 年度の会長をされた方です。川村泰雄先生は私に「小澤君、もしチャンスがあればロータリーに入りなさい。そしてロータリーで卓話の時には小澤君のプロフェッションとしての哲学を語りなさい。ロータリーとはその哲学に共感する仲間を作る場所なんだ」

そう！ロータリーとは仲間を作る場所なんだ！これは1905年にロータリーが創設されてから120年間一度も変わっていません。

1905年ポールハリスを中心に4人のメンバーから始まった初期のロータリーはメンバーの親睦を深めることで仲間を増やし、さらにそれがクラブの仲間同士での取引へと繋がっていきました。クラブ内で安心して仕事を依頼できるロータリークラブは次第に評判を呼び、入会希望者がどんどん増えていきました。

これが初期のロータリークラブの定款です。

- 1 本クラブ会員の事業上の利益の拡大
- 2 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進

初期のロータリークラブではクラブ内での取引が基本的には義務になっていましたし、統計係と呼ばれる係がいて「今週はこんなにクラブ内で取引が行われました！」と毎週の取引額を発表していたのです。ですから初期のロータリーには商売を繁盛させたくて入会した人も多かったのです。順調かに見えたロータリーでしたが1906年に大きな転機が訪れます。シカゴで事業をしていたフレデリック・ツイードが仕事でお世話になっていた弁理士のドナルド・カーターを入会しないかと誘うと入会を拒否されました。理由を聞くと「ロータリーは閉鎖的で一業種一人というのは自分のことしか考えていないエゴイズムだ。二度とない貴重な人生の時間をそのようなエゴイズムの中で私は過ごしたくない。もしロータリーが永続的な発展を望むなら、自分たちの利益のことだけを考えるのではなく、社会の人たちの共感を得なければならない」と説いたのです。しかし会員の相互利益から始まったロータリーですから、それがなくなってしまっただけではロータリーに入会するメリットが薄れてしまいます。

そこで打ち出されたのが「職業奉仕」という考え方なのです。現在のロータリーには職業奉仕を含む5大奉仕があります。

クラブ奉仕

職業奉仕

社会奉仕

国際奉仕

青少年奉仕

例えばクラブ奉仕は「クラブ」のために「奉仕」する。クラブと奉仕の間「のために」を入れても意味が分かります。

では職業奉仕とはどのようなものなのでしょうか？

そう！職業奉仕とは「職業」を価値あるものとするために「奉仕（サービス）」の理想を追求すること。

1910年にこの職業奉仕という考えのもと、「最も奉仕するもの 最も多く報いられる」という標語が発表されました。1912年にポールハリスは統計係を廃止し、1916年の全米大会から職業奉仕部門が正式にスタートしています。ロータリーではこの職業奉仕の考えのもとビジネスの価値を高め成功する人たちが現れ、ロータリーの人気はさらに高まっています。

そんなときロータリーにまた大きな転機が訪れます。全米でポリオが流行しだすのです。ポリオによって麻痺の障害の残った子供が全米に現れ、社会問題となっていくます。そんな時、エドガーアレンという一人のロータリアンが自分のクラブと周辺のクラブの協力を得て、全てのクラブが一丸となってこの身体障害者の問題に取り組むよう 1922年の全米大会で「障害児救済活動決議案」を採択することに成功します。

しかしこれが全米を巻き込む大論争に発展していくのです。ポールハリスを中心とする派閥「理論派」とエドガーアレンを中心とする派閥「人道主義活動派」に分かれて論争を繰り広げたのです。

理論派はロータリークラブとは職業人の集まりであり、あくまでもその関心の中心は「職業」であるべきである。またクラブはそれぞれ独立しており、他のクラブから活動についての指図をされるべきではない。

それに対し人道主義派は全米ではポリオが多発し大きな社会問題となっている。このような重大事においてロータリーは一丸となって対処すべきである。実践的かつ金銭的な活動が必要であり、そのような現実から目を背け、自分たちの職業だけ考えていればいいなどと主張するのは卑怯である。

双方一歩も引かずロータリーは分裂危機に陥ったのです。この危機に現れたのがテネシー州ナッシュビル RC であり、1923年の全米大会においてこの混乱を鎮めるべく論争の回答とも言える 1923年の決議案 34号、いわゆる「決議 23-34」を提出したのです。

1.ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕―「超我的奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。理論派の職業奉仕として職業を高めていこうという考えも、人道活動主義派の社会に積極的に貢献すべきだという考えも、ロータリーにおいてはなんら矛盾することではなく、むしろこれは表裏一体で「もっとも奉仕するもの最も多く報いられる」という実践的に証明されている人生における黄金律なのです。

2.本来ロータリークラブは、事業および専門職務に携わる人および地域社会のリーダーの代表として、ロータリーの奉仕の哲学を受け入れ、次の四つのことを実行することを目指している人々の集まりである。

まず第 1 に、奉仕の理論が職業および人生における成功と幸福の真の基礎であることを団体で学ぶこと。

第 2 に、自分たちのあいだにおいても、また地域社会に対しても、その実際例を団体で示すこと。

第 3 に、各人が個人としてこの理論をそれぞれの職業および日常生活において実践に移すこと。

そして第 4 に、個人として、また団体としても大いにこの教えを説き、その実例を示すことによって、ロータリアンだけでなく、ロータリアン以外のすべての人々が、理論的にも実践的にも、これを受け入れるように励ますことである。

ロータリーは一枚岩ではない、と言われることがあります。決議 23-34 のように時には対立を乗り越え、様々な考えを飲み込み、ロータリーの理念が構築されていったのです。このようなロータリーの様子を「ロータリーモザイク」と表現した人もいます。モザイク模様のように様々な人たちが美しい様子を描き出しているのがロータリーなのです。そしてその様々な考えを持つ人々をつなぎとめる共通の理念が奉仕の理想なのです。

私たちは新しい価値の創造をしなくてはなりません。ときには古い慣習や既得権益を捨てなければなりません。それは孤独を伴うこともあります。教室の最前列で講義を聞くように。しかし情熱をもって望めばそこには共感する仲間が必ずいます。ロータリーの例会はそんな仲間を作る場であってほしい。

次年度は幹事、この例会がそういう場となるよう情熱を持って加瀬エレクトはじめ皆様と頑張っていきます！本日は卓話の機会をありがとうございました！

